▼編集後記

今号から「先達に聞く」という企画をはじめました。『ゲシヒテ』の使命の一つとしてドイツ史研究の「現在」を提示することがありますが、「過去」にも関心を払うべきと考えるにいたったからです。ネット時代になって様々な情報が簡便に手に入るようになり、そのためかえって、現在の歴史研究が、様々な先達による地道な営為の積み上げによることが、意識しづらくなっています。編集委員で相談して、ドイツ現代史研究の「先達」といえる先生がたにご自身の研究経歴についてのご原稿を依頼することにした次第です。幸い、今号では田村栄子先生による臨場感あふれるご原稿をいただくことができました。

「先達」について語るということでは、木谷勤先生の訃報に接し、若尾祐司先生を中心に木谷先生について語る原稿が「自然発生的に」集まってきました。最後まで最前線で研究を進められようとした木谷先生のお仕事についての四つの論考から、木谷史学のみならず、戦後の日本の歴史学の発展についてもいろいろ考えさせられます。

こうした「過去」にふれた論考に加え、歴史研究の「現在」を示す論文、ノート、特集、書評が揃い、今号は極めて多彩なものになりました。（北村昌史）

今号におきましても、編集委員、事務局、執筆者のみなさまから、多くのご協力・ご親切を賜りました。この場をお借りして、関係する方々に厚くお礼申し上げます。

ご覧いただきましたように、今号は非常に内容多彩で読み応えのある一冊となっております。私は今号をもって編集実務の任を終えますが、「勉強になった」「楽しかった」「早かった」と思うと同時に、最後に今号の送り出しに携わることができて、とても運が良かったと感じます。

編集期間中は、文集「木谷勤先生を偲ぶ」から、先生のお仕事の大きさとお人柄に触れるような思いをしたこと、その後の例会にお集まりになった方々が先生のことをお話してくださったことが、とりわけ強く印象に残りました。時代や世代やその他いろいろな違いを超えて繋がっている研究者の世界を見せていただいた、という思いです。（野上俊彦）

▼編集委員
北村昌史（大阪市立大学）
服部伸（同志社大学）
田野大輔（甲南大学）
中野智世（成城大学）
近藤正基（京都大学）
西田慎（奈良教育大学）

▼編集実務
野上俊彦（神戸大学・院）

ゲシヒテ
第12号
2019年4月30日発行

▼編集発行
ドイツ現代史研究会（代表・姫岡とし子）
〒602-8580
京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学文学部　服部伸研究室内

▼印刷
株式会社オーエム